



コミュニティ だより

あけぼの

六合地区	
平成29年2月28日現在	
人口	15,846人
男	7,902人
女	7,944人
世帯数	5,753戸



『平成二十九年の幕開け』

岸山山頂からの初日の出

一月一日(日)この時期としては風もなく暖かい穏やかな年明けを迎えることができました。

今年も岸山山頂からは、素晴らしい初日の出が見られ、写真を撮る人など大勢の方が新年の幕開けを喜んでいました。

そして各町内では、神社境内や公会堂(防災センター)にてお神酒、甘酒、お汁粉などが振る舞われ、ご近所の方々と新年の挨拶を交わしていました。

平成二十九年が皆様にとって幸多き年になりますようお祈りいたします。



岸町浅間神社



岸山山頂



阿知ヶ谷公会堂



東町八幡神社

各町内の初詣の様子

文化祭

十月二十九日(土)、三十日(日)の
 両日、六合公民館(ロクテイ)及び六
 合小学校体育館において、六合地区文
 化祭が開催されました。

この文化祭は六合公民館共催の下に
 行われ、展示発表を主にロクテイの館
 内各施設において、芸能発表を小学校
 体育館において開催されました。そ
 他にロクテイ内では、健康コーナー、
 無料試食コーナー、喫茶コーナー、お
 茶会、おたのしみ抽選会、スタンプラ
 リーも行われ、和気あいあいとした雰
 囲気で、参加者の皆さんが楽しんでい
 ました。

この文化祭は、島田工業高等学校を
 始めとする六合の小中学校、幼稚園、
 各保育園、各種団体や個人の方の多大
 なご支援があり開催できました。本当
 にありがたいと思いました。今後もこ
 のようなイベントを介して六合の各種
 組織が連携でき、地域としてのコミュ
 ニケーションが活発になることを期待
 します。



文化講演会



十二月三日（土）、ロクティ多目的ホールにおいて六合コミュニティ委員会主催の文化講演会が開催されました。テーマは『東日本大震災と地域コミュニティ』で東日本大震災を体験され、復興に御尽力されている宮城県議会議員の島山和純さんと安部孝さんの御二人に大変貴重な体験談や被災時の対応、

対策等について講話をしていただきました。

参加された皆様は今後起こるであろう東海大地震や南海トラフ巨大地震の参考として真剣な眼差しで講師の話を聞いていました。

震災は自助、共助、公助の力を合わせて乗り越えていきますが、一人一人が自分の身の安全を守る自助が基本となります。自助なくして共助は成し得ません。過去の大震災での教訓から倒壊家屋から救出された多くの地域住民は共助の力によって助けられています。発災まもなくは公助の力は期待できません。自助、共助の面において、これまで以上の対策や検討、訓練の実施が必要となります。

また講師の御二人が特に強調していた常日頃から地域とふれあい、繋がりを持つこと、顔の見える関係を構築しておくことがとても大切です。防災訓練や地域で行われる行事には、できる限り参加しましょう。備えあれば憂いなし、災害に強い六合地区を目指し、地域の皆様が一致団結して減災に向けて取り組んでいきます。



地域防災訓練

十二月四日（日）に「地域防災の日」として静岡県内一斉に地域防災訓練が行われ、六合地区も南海トラフを震源域とした大地震を想定し、各町内にて訓練を行いました。

放水訓練、消火訓練、救出訓練、AED機器操作訓練等の実践訓練を実施しました。

多くの小・中・高校生が積極的に訓練に参加をしていて、防災意識の高さを感じました。



「阿知ヶ谷」

「東町」

「道悦島」

道悦島地区の活動紹介

道悦島地区は、コミュニティ活動の独立した組織は持ち合わせておりませんが、自治会が中核となって事業をおこなっており、この中で道悦島地区社協や、まちづくり委員会がそれぞれの活動を実践しておりますので活動の一部を紹介させていただきます。

道悦島地区社会福祉協議会の活動

生活支援サービ 「道悦島応援隊」が発足！

地区内のある方からの「困った！」に対して、自治会をはじめ、まちづくり委員会や道悦島地区社協、行政（県立大・県社協・島田市）などの支援も得て、1年半の準備期間をかけて生活支援のしくみを構築して来ました。

今年の1月からスタートし高齢の方の世帯や、一人住まいの方の日常生活のちょっとした困りごとに地域で支え合う事業です。ゴミ出しや、草取りなどを有償で請け負い、サポーターに手当てを支給します。高齢化社会に向けて、少しでも生活支援の活動が地域に役立つ事が出来ればと思っています。



1/17 発足式で市長のお言葉



垣根の枝切りのお手伝い

高齢者ふれあいの会で「手作りの食事」提供！

高齢者ふれあいの会は、既に19年経過し毎月1回ロクティを拠点として、80歳以上の高齢者約35名、スタッフ25名の総勢で健康で元気に暮して行けるよう、病气予防の体操や外部の講師を招いての講話や、スタッフと一緒に楽しめる歌やダンス等、寸劇も取り入れて健康増進に努めています。年1回は、市外へのバス遠足クリスマス会などの季節ごとの催しを取り入れたり、幼・保育園児との触れ合いタイム等、趣向を凝らして取り組んでおります。

また、毎月のお昼を楽しみにして来ている方のためにもスタッフが献立を工夫し、食事づくりに精を出しています。



オートハープひまわりの民舞



楽しい昼食のひと時

道悦島まちづくり委員会の活動

まちづくり委員会が活動をはじめ五年目を迎えました。六合駅が出来てから、三十年も経過しているのに他駅に比べ変わり映えない事から市に駅周辺の活性化を要望して参りました。会員みずから汚れたトイレの清掃や、耕作放棄地を利用した野菜づくり、採れた野菜を販売する「元気市」を月二回開いています。六合地区自治会、まちづくり委員会が市に要望していましたが念願の駅前トイレの改築工事が三月に完成致しました。尚、ロータリーの停車位置などの模様替えも同時に行なわれます。

また年二回、イベントを行ない園児たちも交え地域とのコミュニケーションも図っています。これらの活動をきっかけに地域の活性化ができればと願っています。



完成が待たれる駅前トイレ



ふれあい祭りにチンドン屋参上



二月十二日(日) 十時より六合小学校にて「入学祝いの会」が開催されました。

四月から小学校に入学される皆様おめでとうございませう。



生まれた時は家族の中心だったお子さんも大きくなり、幼稚園・保育園を卒園し、この「入学祝いの会」を通して地域とまたひとつ大きな関係が築かれて行くと思います。小学校入学時は、まだ知らない子が多いかもしれませんが、卒業する頃にはほとんどの子と友達になっていることでしょう。元気に楽しく学校生活を送ってほしいと思います。



コミュニケーション老人部主催 六合地区 いきいき クラブ大会

十一月十三日（日）午前九時から、六合小学校体育館で老人部主催の「六合地区いきいきクラブ大会」（お楽しみ会）が、各地区の「寿会」「延寿会」「こすもす会」「永寿会」会員参加のもとに盛大に開催されました。

開会式は、「島田市いきいきクラブスローガン」を全員の朗唱から始まりまし。河村コミュニケーション委員会会長、池田老人部部長の挨拶に続き、多年にわたり功績のあった五名の方が表彰されました。その後、来賓の方のお祝いの挨拶等があり、引き続き講演会が行われました。

島田警察署から

最近の詐欺事例と対処方法、高齢者の交通事故の注意事項と、夕暮れ夜間の散歩等に「反射タスキ」装着の必要性についてお話がありました。

続いてお楽しみ

講演では、「健康に生きる楽しさの始まり！」という演題で、六合地区在住のレクリエーションコーディネーター小池幸子様のお話がありました。

「充実した暮らしを送るためには、心と体のリフレッシュが大切、笑いは脳と心の処方箋、今を楽しく笑顔を絶やさずに生きよう。」などのお話で、素晴らしい話術と簡単な体操を取り入れて話していただき、参加者の心を引き込んでいました。

昼食をはさんで午後は、アトラクシ

ョンで各クラブからの演技や合唱が披露され、最後に六合地区女性部によるダンスの披露があり楽しい雰囲気の中終了しました。次回も楽しく、明るく、いきいきとした大会にしましょう。

尚、開催前から交通安全部の方を含め役員の方が、早朝より準備、交通整理等をして大会をサポートしていただきました。



親子 マス釣り 大会

十一月二十七日（日）、六合コミュニケーション委員会主催の親子マス釣り大会が阿知ヶ谷天満神社前の東光寺谷川で行われました。

当日、天気が心配されましたが、スタート時は薄日も差すなど何とか持ちこたえよう。集まった太公望の人達。最初は大人の方が多いと感じられましたが、間もなく子供達もやってきて、じいじ、ばあばも多く、約三百人が参加し賑やかな大会となりました。午前八時三十分の一斉にスタート。各々、川の流れが穏やかな場所の川底でじっとしているマスに挑む人、川を堰き止めているトタンの隙間で流れのある場所で挑む人、カップルで和気あいあいと

釣り糸を垂れている人など、思い思いの場所ですり糸を垂れていました。最初は直ぐにかかり、大物を釣った子は重く上に揚げるのを諦め、たもですくい上げていました。しばらくするとマスもお腹が一杯か、目の前を餌が流れていくのを悠然と見送るシーンもあり、親子ともども悪戦苦闘していました。大会は、途中二度ほど雨がぱらつきましたが盛況に行われ、大会の最後には川の中に入っつつかみ取りと、子供たちの楽しそうな声で溢れていました。

また主催者側からは、お土産のマスや神社の境内で綿菓子、豚汁、甘酒のサービスがあり、お腹も温まる楽しい大会になりました。



小学校の安全マップ 完成!!

新学期に児童世帯へ配布

事故防止に役立てて!



「教育振興部会」



昨年の七月の教育振興部会から、子どもたちを登下校などで交通事故や、不審者の被害に遭わないようにと六合地区内の小学校の通学路を中心に「安全マップ」を作成して来ました。

二つの小学校に区分し、小学校・中学校及び幼稚園・保育園に危険個所などの調査をお願いして道路の危ないところ(車・自転車に気を付けて



A 2版・掲示用他 A 3版・世帯配布

渡る場所)、人けが少ないこわい場所などをリストアップをしてもらいました。

また、島田警察署や六合交番、市の生活安心課などに相談し協力を頂きながら、完成に至りました。

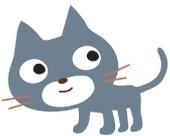
この安全マップは、配布されたら見て終わりではなく、

一、家庭で親子で、日頃から話をして事故などに遭わないように心掛けて行く。

二、学校・PTA・登校班や子ども会等で危険個所を知り話し合いをする。

三、登校班リーダーや、親は危険個所や改善して欲しい場所があったら、町内会や自治会に上げて市に対策を取ってもらう。

これからは、安全マップを交通事故防止・不審者から身を守るためのツールとして是非役立て、使っていただければと願っています。



専門部の皆さん

「年間おぼろげなびら」ができました。

各専門部の皆さんには、この一年さまざまな六合コミュニティ主催事業を開催していただきました。夏祭り、文化祭、敬老会、ウォーキング大会、親子マス釣り大会、入学祝いの会など、大きな問題もなく無事開催することができてよかったと思います。

開催にあたり部長さんが中心となり、部員の方々と協力して企画、準備、進行、片付けなど、事業の成功に向けご尽力をつくっていただきコミュニティ主催事業を盛り上げていただきました。

来年度、現部長さんには各専門部のアドバイザーとして次期部長さんのサポートをしていただくことになっています。

来年度も素晴らしいコミュニティ主催事業が開催できますようよろしくお願い致します。



ご尽力いただいた専門部長の皆さん

編集後記

今回で今年度の広報紙「あけぼの」の発行が最後になります。

一回目の「あけぼの」編集後記で皆さんにいろいろな行事、六合地区の魅力をお伝えしていきたいと書きましたが、新しい視点で新たな六合の魅力をお伝えできたかと言ったら疑問が残ります。

ただ個人的には、取材を通して

一年間いろいろな行事に携わることができ、大勢の方と出会い、苦労した事、嬉しかった事などさまざまな経験ができたことに感謝しています。

今後は私も一読者として「あけぼの」の発行を楽しみに読ませていただきますと思います。一年間取材にご協力いただいた皆さん、ご愛読いただいた皆さんありがとうございます。

広報部長 永井義範